

新学習指導要領 体育編(小)、保健体育編(中)解説の指導計画作成と内容と取扱いの改善において、小学校では「情報手段の積極的な活用」、中学校では「情報活用能力の育成」が示されました。取組が始まったばかりで実践例も少ないのですが、全ての先生に取り組みやすい事例(ヒント)や、問い合わせが多かったことをQ&Aにまとめました。授業でのICT機器活用を進めるヒントとして活用していただければと思います。



Q. ICT機器を体育授業の導入で活用するときのポイントを教えてください。



A. ICT機器を体育授業の導入で活用する際は以下の点をおさえておきましょう。

- 導入での絵、図、写真、動画提示は児童生徒が動きや技のイメージを捉えやすくなります。また、「あんなふうになりたい」という憧れや意欲にもつながります。オリンピックの技や動きを見せるのも興味・関心を持たせるのに効果的です。
- 動画を取り込んで提示する場合は、必ず教師側で準備しましょう。「何を学ばせたいか」ねらいに合わせた動画をダウンロードし準備しておくことで、児童生徒が「何を学ぶか」「何をできるようにするのか」が明確になります。  
(児童生徒に動画を検索させるのは、捉えさせたいポイントがブレてしまうのでNGです。)

## ICT活用基本編 やってみよう!

課題設定への見通しを持たせる。

説明の時間を減らせる分、運動量の確保につながる。

一人一人の課題に対応できる。個別最適な学びが可能。

何度も繰り返し再生できる。

導入で情報提示・情報共有・情報の即時性・情報の接続性

### 教科書・資料の図・絵を取り込んで提示してみる 動画を取り込んで提示してみる

※ 使用する主な機器：PC、タブレット、スキャナ（デジタルカメラでも代用可）  
大型モニター（プロジェクターとスクリーンでも代用可）



PCへの保存先を決めておくともスムーズ



HDMIケーブル接続が望ましい



スキャナで取り込んだ画像

PCへ取り込む

大型モニターへつないで提示

デジタルカメラで撮影した画像

(ダウンロード動画も)

タブレットへ提示(共有フォルダの作成が必要)

〈注意点〉・使用する機器が教育委員会、学校においては整備されていないこともあります。  
・整備されていない機器や私物の使用、ネットワークへの接続等については、教育委員会や学校のセキュリティポリシー、ルールに従ってください。情報モラルやセキュリティにも配慮してください。